

過去の水質結果と下水道工事進捗について

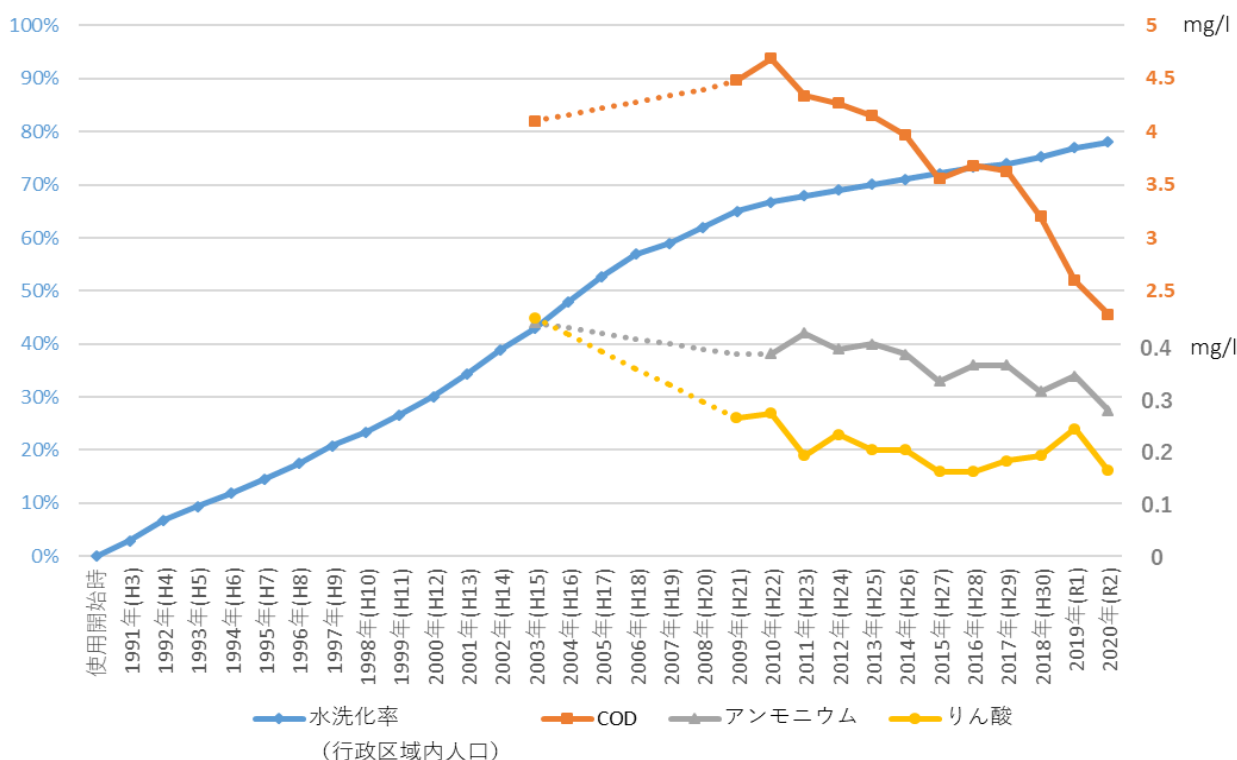
市内の水質調査地点約150カ所について保有する2010年以降のデータをもとに「20年のまとめ」をつくりました。

水質調査開始以来調査結果は年ごとに冊子にまとめており、市の倉庫から2003年版を見つけました。それをもとに2003年、2010年、2020年の水質マップを作り、それらを添付しました。それに川別下流地点の水質(市環境報告書/わたしたちの会のデータ)の表を付けています。

このマップから分かることは、CODについて2010年に悪化が見られますが、アンモニウム・りん酸については2003年に比べて2010年以降顕著な改善が見られます。

改善の要因として考えられる公共下水道工事の進捗との関係をまとめました。

彦根市の水洗化率（行政区域内人口）と水質変化



下水道工事の進捗を表す数値に

普及率＝処理区域内人口/行政区域内人口

水洗化率＝水洗化人口/処理区域内人口 があり

家庭排水を下水道につなぎこんだ割合として

水洗化率(行政区域内人口)＝水洗化人口/行政区域内人口 を

◆◆で示しました。

COD・アンモニウム・りん酸の数値は全調査地点の測定値の年ごとの平均値で、「20年のまとめ」の12,13頁に載っているものです。

生活排水にかかわるアンモニウム・りん酸の推移は下水処理による効果です。

有機物量をあらわすCODは要因が不明なこともかかえつつ、下水処理によって改善が進んだものと思われます。